



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 日本ペイント株式会社

コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 赤木 勤

TEL 06-6455-9141

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	62,558	1.3	8,085	3.3	10,403	△9.2	6,097	△16.6
26年3月期第1四半期	61,756	5.3	7,826	17.0	11,456	66.4	7,312	98.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 4,931百万円 (△69.3%) 26年3月期第1四半期 16,040百万円 (190.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	23.39	—
26年3月期第1四半期	27.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	322,567	207,956	60.4
26年3月期	324,028	207,715	60.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 194,879百万円 26年3月期 194,565百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	133,000	4.8	16,500	△0.3	22,500	△0.8	15,000	△2.0	57.53
通期	270,000	3.6	34,500	3.3	47,000	0.4	32,500	1.1	124.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	265,402,443 株	26年3月期	265,402,443 株
27年3月期1Q	4,680,335 株	26年3月期	4,678,873 株
27年3月期1Q	260,723,155 株	26年3月期1Q	264,697,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は625億58百万円（前年同期比1.3%増）となり、連結営業利益は円安による日本からの輸入原料コスト低下や原価低減活動により海外セグメントの利益が増加したことから80億85百万円（前年同期比3.3%増）となりました。一方、連結経常利益は、前年同期はアジアセグメントの一部事業の売却益を持分法投資利益として計上していたことに加え、為替差損の影響などで104億3百万円（前年同期比9.2%減）となりました。また、連結四半期純利益は60億97百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第1四半期連結累計期間の対象期間は2014年1月から3月となります。

## 《日本》

当地域では、自動車生産台数が増加したことなどから、自動車用塗料の売上高は前年同期と比較して増加しました。また、消費増税駆け込み需要の受注残などにより工業用塗料の売上高も増加しました。一方で人手不足による建設工事停滞などの影響を受け汎用（建設用・重防食用）塗料の売上高は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は457億34百万円（前年同期比1.5%増）となりました。連結営業利益は原価低減活動による成果はあったものの、原材料価格の上昇などにより65億24百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

## 《アジア》

当地域では、連結子会社については、タイ事業は政情不安による景気減速の影響を受け売上高は大幅に減少しました。一方、中国では日系自動車メーカーの販売台数増加に伴い自動車向けプラスチック用塗料の売上高が増加しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は101億95百万円（前年同期比1.5%減）となり、連結営業利益は9億円（前年同期比40.3%増）となりました。

持分法適用会社については、その中核である中国において住宅内装用塗料の売上高が引き続き好調に推移し、継続してコスト削減に取り組んでいることもあり、中国事業の収益性がさらに向上しました。しかしながら、持分法投資利益については、前年同期にシンガポールの一部事業の売却益を計上していたこともあり、22億9百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

## 《北米》

当地域で展開している自動車塗料事業は、1・2月の寒波と昨年度に一部の不採算事業を売却した影響もあり、現地通貨ベースでは売上高は減少（為替の影響により円ベースでは増加）しました。

その結果、当地域セグメントの売上高は58億22百万円（前年同期比3.7%増）に、営業利益は5億45百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

## 《その他》

当地域セグメントの売上高は8億5百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は74百万円（前年同期は9百万円の営業損失）となりました。

また、昨年度にドイツ塗料メーカーの株式39%を取得したことに伴い、当期から計上する当地域の持分法投資損益は、のれん償却負担もあり3百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して14.6億円減少し、3,225億67百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して18.2億円減少しておりますが、主な要因は、法人税や配当金の支払いなどにより現金及び預金が減少したことなどによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して3.6億円増加しておりますが、主な要因は、株価の上昇などにより投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して17.0億円減少し、1,146億11百万円となりましたが、主な要因は、退職給付に係る負債が増加した一方で、法人税等の支払いにより未払法人税等が減少したことなどによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して2.4億円増加し、2,079億56百万円となりました。主な要因は、為替が円高となったことにより為替換算調整勘定が減少した一方で、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の60.0%から60.4%へ上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日発表の通期業績予想を変更しておりません。

なお、この通期業績予想には、平成26年2月3日に発表しましたアジア地域における合弁会社の持分取得による子会社化に伴う影響は見込んでおりません。本件連結化が連結業績に与える影響につきましては、確定次第開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,973百万円増加し、利益剰余金が1,268百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,591	40,547
受取手形及び売掛金	86,714	86,142
たな卸資産	28,611	28,934
繰延税金資産	4,712	4,579
その他	9,033	10,628
貸倒引当金	△492	△479
流動資産合計	172,171	170,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,433	27,082
その他(純額)	34,367	33,991
有形固定資産合計	61,801	61,074
無形固定資産		
のれん	10,984	10,661
その他	3,699	3,447
無形固定資産合計	14,684	14,108
投資その他の資産		
投資有価証券	72,025	73,579
繰延税金資産	1,888	2,062
その他	1,972	1,866
貸倒引当金	△514	△476
投資その他の資産合計	75,371	77,032
固定資産合計	151,857	152,214
資産合計	324,028	322,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,026	44,933
電子記録債務	11,824	11,799
短期借入金	12,015	11,892
リース債務	281	272
未払法人税等	6,442	2,929
その他	15,462	15,399
流動負債合計	91,052	87,227
固定負債		
長期借入金	754	726
リース債務	895	983
繰延税金負債	1,427	1,523
役員退職慰労引当金	245	207
環境対策引当金	328	328
退職給付に係る負債	17,496	19,071
その他	4,111	4,542
固定負債合計	25,259	27,383
負債合計	116,312	114,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,188
利益剰余金	140,270	141,971
自己株式	△6,389	△6,392
株主資本合計	188,782	190,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,827	7,441
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	2,618	409
退職給付に係る調整累計額	△3,661	△3,449
その他の包括利益累計額合計	5,783	4,399
少数株主持分	13,149	13,076
純資産合計	207,715	207,956
負債純資産合計	324,028	322,567



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	61,756	62,558
売上原価	39,405	39,481
売上総利益	22,350	23,076
販売費及び一般管理費	14,524	14,991
営業利益	7,826	8,085
営業外収益		
受取利息	14	27
受取配当金	259	404
持分法による投資利益	2,322	2,205
為替差益	1,065	—
その他	239	318
営業外収益合計	3,900	2,955
営業外費用		
支払利息	72	57
為替差損	—	346
その他	197	233
営業外費用合計	270	637
経常利益	11,456	10,403
特別利益		
固定資産売却益	1	9
その他	0	0
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産除売却損	47	39
関係会社清算損	—	16
その他	50	1
特別損失合計	97	57
税金等調整前四半期純利益	11,359	10,356
法人税等	3,536	3,748
少数株主損益調整前四半期純利益	7,823	6,607
少数株主利益	511	509
四半期純利益	7,312	6,097

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,823	6,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,589	618
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	3,306	△1,171
退職給付に係る調整額	—	212
持分法適用会社に対する持分相当額	2,324	△1,333
その他の包括利益合計	8,217	△1,675
四半期包括利益	16,040	4,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,679	4,713
少数株主に係る四半期包括利益	1,361	218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	45,073	10,346	5,616	61,036	719	61,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,132	539	86	3,757	165	3,923
計	48,205	10,886	5,702	64,794	885	65,679
セグメント利益又は損失(△)	6,652	642	526	7,821	△9	7,812
持分法投資利益又は損失(△)	△0	2,322	—	2,322	—	2,322

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	7,821
「その他」の区分の損失(△)	△9
セグメント間取引消去その他の調整額	13
四半期連結損益計算書の営業利益	7,826

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	58,280	5.4
自動車用	21,781	7.2
汎用	12,069	11.1
工業用	11,422	5.5
その他塗料	13,008	△2.0
ファインケミカル	3,476	3.5
合計	61,756	5.3

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	45,734	10,195	5,822	61,752	805	62,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,069	1,192	49	4,311	392	4,703
計	48,804	11,387	5,871	66,063	1,198	67,262
セグメント利益	6,524	900	545	7,971	74	8,046
持分法投資利益又は損失(△)	—	2,209	—	2,209	△3	2,205

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	7,971
「その他」の区分の利益	74
セグメント間取引消去その他の調整額	38
四半期連結損益計算書の営業利益	8,085

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が30百万円増加しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	58,762	0.8
自動車用	22,176	1.8
汎用	11,783	△2.4
工業用	11,947	4.6
その他塗料	12,854	△1.2
ファインケミカル	3,795	9.2
合計	62,558	1.3

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。